

やさしいところ

R7.3.7

「捕まっちゃったのが悔しかったの?」「悔しかったね」「次は頑張ろう」「一緒に逃げる?」たくさん代弁して気持ちを受け止めています。

「捕まったのが嫌だったの」と悔しかった気持ちを言葉にして伝えています。悔しい気持ちをどうしたらいいだろう?と否定することなく輪になって一緒に考えていました。

お友達にとプレゼントしたものをほかのお友達に取られちゃった・・・
「返して」「やだ」のやりとりが続きます。
すると、「同じのまた持ってきてあげるから返してあげて?」と優しく伝える姿。
その言葉を素直に受け入れ、トラブルが終わりました。
互いの気持ちを受け止め、考え解決方法を見つけています。

こんな場面も

置いてあった玩具を使おうとしたら、お友達が作った作品だったようで遠くから泣き声が・・・
すぐに気づき、「直してあげるから作り方教えてくれる?」「知らなかったの、ごめんね」と優しく声を掛けていました。
どうしようと焦りから、困ってしまう姿が多かったですが日々の経験からこんな関わりが見られるようになりました。

ありました🌟

もうすぐ進級というこの時期を迎え、気分はすっかりみかん組さん🌟な子ども達。
今までは、「やって」「手伝って」が多かったですが今ではもう自分で!が当たり前。
集団での生活の中で、友達との関わりも大きく変化していっています。
1人1人が“小さな先生”となり、保育士の手伝いはもちろん、トラブルの場面にもすぐに駆けつけてくれます。
声が聞こえると、遊びの手を止め近くに行き、話を聞きに行きます。
“〇〇が嫌だった”“こうしてほしかった”と自分の思いを言葉で伝えられます。
保育士が入らずとも、子ども達で話し合いともに考え、解決へと導けるようになりました。
そんな心の成長が大きく見られています。